



2006年9月27日 第2007-05号

【発行】J A M

【発行責任者】大山勝也

【編集】社会政策局

03-3451-2586

E-MAIL : [syakai@jam-union.jp](mailto:syakai@jam-union.jp)

## 安倍政権発足にあたって連合事務局長が談話

新政権には期待薄、やはり政権交代を

昨日召集された第165臨時国会で、安倍晋三自民党総裁が首相に選出されたことを受けて連合が事務局長談話を発表。安倍政権の売り物である「再チャレンジ」政策が、期待に応えうるものかどうか、具体策と実行プロセスを注視して今後の対応を検討すると述べています。

さらに、「これまでの構造改革路線を加速させる」との基本姿勢を示している新政権には期待できず、我々が求める社会を実現するためには政権交代しかないことを強調。再選された小沢代表率いる民主党との連携を強化し、選挙態勢に万全を期し、全力で取り組むとしています。

### 安倍政権発足に当たっての談話

連合事務局長 古賀 伸明

1. 昨日、衆・参議院本会議で首班指名が行われ、安倍晋三氏が第90代首相に選出され、「美しい国創り内閣」と称する新内閣を発足させた。新内閣は、安倍氏と似通った政治信条を有するもの、および安倍氏の私的応援団が中心の顔ぶれとなった。
2. 安倍総理は、就任後初の記者会見で、構造改革についてさらに加速させるとともに、補強していきたいと述べた。連合はこれまでも、政権与党による構造改革一辺倒、市場万能主義政策に警鐘を鳴らし、格差を是正し、不安と不信の日本を立て直すことを求めてきた。安倍政権が掲げる「再チャレンジ」政策が、これらの課題に応えるものであるのか、9月29日の安倍首相の所信表明演説、今後の具体的な政策提示とその実行プロセスを注視し、今後の対応を検討していく。
3. また、本臨時国会における重要案件として、テロ対策特措法の延長、防衛庁の省昇格、国民投票法案などが挙げられるなど、当面の防衛・安全保障の課題が目につく。教育基本法改正や歴史認識が問われる靖国参拝問題も含め、国のあり方に関わり、安倍新政権がどのような舵取りを行うのか、内外からの注目が高まっている。加えて、前政権下において冷え切った中国、韓国などの周辺諸国との関係をどのように改善していくのかについても、連合はその動向を注視しつつ、必要な対応を講じていく。
4. 政権に対する連合の態度は、具体的にどのような政策が実行されるかによって決まる。その点では、先述した観点も含め、当面は安倍新政権の具体的な政策や国会運営等を注視しつつ、政労会見を中心に政府との対話を進めていくことになるが、連合はこれまでの構造改革路線をさらに加速させるという基本姿勢を示した安倍政権には大きな期待はできないと考えざるを得ない。

連合は、真の民主主義を確立し、国の行方を正しく導くためには、政権交代以外にはあり得ないものとする。9月25日に再任された小沢代表率いる民主党と一層連携を深め、今後の選挙対策に万全を期すとともに、格差社会を是正し、安心して公正な社会の実現に向け、連合は引き続き全力を挙げていく。